

2019 年度レベル別教育プログラム

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル 1	*新人看護職員対象：入職時研修	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を習得する	別紙 「研修内容」参照	4月4日(木)5(金)
	*感染予防対策 I	*当院の標準予防対策、経路別予防対策を理解する *標準予防対策を実施できる	認定看護師 井上師長	4月11日(木) 9:00~12:30
	*医療安全管理 I 「事故防止・事故発生時の対応」	*事故防止のための基準・手順・マニュアルを理解する *事故発生時に適切な行動ができるように院内規程を理解する	医療安全管理者	4月12日(金) 9:00~11:00
	*安全確保の技術 転倒・転落予防	*転倒転落の発生機序と当院の予防対策を理解する *当院の転倒・転落のアクシデント事例と分析結果を知る	医療安全管理者	4月12日(金) 11:00~12:30
	*診療情報管理 I 「看護記録」	*看護記録関連の規程から看護記録とは何かを理解する *看護実践を証明するための記録をどう書くか理解する *法的根拠となる看護記録について理解する	教育委員師長	4月12日(金) 13:30~15:00
	*災害時の対応	*火災・地震・停電などの災害時にリーダーの指示を受けて行動できる	基準委員長	4月12日(金) 15:00~16:00
	*注射の基本 (皮下・皮内・筋肉内注射・静脈血採血) *輸液の管理 *輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いと管理 *検体の取り扱い NEW	*安全に注射を行うための知識・技術を習得する *輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく操作するための基本的知識、技術を習得する *輸液療法が正確に実施されるために必要な知識・技術を習得する *検体の正しい取り扱いについて学ぶ(血液・体液・培養・その他)	学研講義活用 教育担当者 検査課技士長 臨床工学技士長	4月18日(木) 9:00~17:00 4月19日(金) 8:30~12:30
	*正しい薬品・血液製剤の取り扱い	*麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する *輸血実施時の観察について理解する NEW	薬剤師 学研講義活用 輸血療法委員会	4月19日(金) 13:30~15:30
	*糖尿病の病態生理・治療・看護	*糖尿病の病態生理・治療・基本的看護を理解する *血糖補正の目的と方法について理解し安全に実施できる	糖尿病療養指導士 遠藤師長	4月19日(金) 15:30~16:30
	*フィジカルアセスメント I 「対象の身体を診る」	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができる *病態生理と治療と看護についての学習方法を学ぶ 注) 各部署の新人看護職員研修運営委員が、自部署の新人看護師へ指導する NEW	各部署新人看護職員 研修運営委員	4月26日(金) 9:00~12:30
	*赤十字と看護倫理 I 「基本原則の理解」	*倫理的ジレンマに陥ったときに活用するために、看護者の倫理綱領と赤十字の基本原則について理解する	新野看護副部長	4月26日(金) 13:30~16:00
	*摂食・嚥下障害の看護	*患者が安全に食事摂取できるように、患者の食べる機能をアセスメントし、適切な食事援助方法を選択できる	学研講義活用 4A教育担当者 スタッフ	5月16日(木) 9:00~15:00
	*口腔ケア 「摂食・嚥下障害改善、合併症予防」	*口腔ケアの目的を理解する *最新の口腔ケアの技術を習得する *挿管中の患者の口腔ケアを学ぶ NEW	RSTスタッフ 堀江係長 7HCU最上看護師 ICU小山看護師	
	*気管内吸引 *導尿・尿管留置 *浣腸(グリセリン・高圧浣腸)	*根拠に基づいた安全な気管内吸引ができる *根拠に基づいた安全な導尿・尿管留置ができる *根拠に基づいた安全な浣腸ができる	学研講義活用 4B・5A・5B・ 7B教育担当者	5月9日(木) (昼休みを挟む) 9:00~17:00
	*急変時の対応	*救急カート内に整備しておくべき備品が分かる *急変時の自分の役割が分かる *スタットコールやRRSについて学ぶ	学研講義活用 救外・7HCU・3HCU・ ICU教育担当者 救急看護認定看護師・ 急性重症患者 専門看護師 小笠 原看護師	5月17日(金) (昼休みを挟む) 9:00~16:00
	*気管内挿管の準備と介助	*気管内挿管の準備と介助が出来るよう知識・技術を習得する		
	*ローテーション研修 オリエンテーション	*ローテーション研修の内容を理解し、研修に必要な事前準備ができる	ICU(HCU)/救外 /手術室 教育担当者	5月17日(金) 16:00~17:00
	*ローテーション研修	*手術室・救急外来・ICU・HCUで研修を行う 注) 詳細は別紙参照	ICU・3HCU・7HCU/ 救外/手術室 教育担当者	別途案内あり
	*リフレッシュ研修：PART I	*自分自身の思いに気づくことができる *他者の思いを知る *今後、自分がどのように行動したらよいか考えることができる	各部署 教育担当者	5月24日(金) (日程は別途配付)
*人工呼吸器の取扱い	*人工呼吸器を使用する患者の人工呼吸管理を安全に行うために器械の特性と取り扱い上の留意点を理解する	学研研修活用 臨床工学技士	6月7日(金) 14:00~16:00	

* スキンケア 最新の褥瘡ケア（皮膚・排泄ケア）	* 最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する * 適切なテープ、被覆材の選択とスキンケアの方法を理解する	学研講義活用 認定看護師 小松係長 褥瘡委員	9月6日（金） 13：30～16：30
* 静脈注射レベル1～3 注：レベル3は末梢静脈注射留置針挿入まで実施する	* 静脈注射の実施基準を理解する * 静脈注射の実施基準に沿って安全に実施できる * 各レベルの実技試験に合格する	学研講義活用 各部署の 教育担当者	7月26日（金） （確認試験は 9月6日実施）
* 必須 各部署で企画した部署別学習会に出席し 学習することがレベルIの認定条件	* 部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解 し活用できる	（講師の条件）レベル II以上の認定者	各部署で7月までに 実施すること
* 必須 関連部署 OJT 伝達講習 NEW	* 所属する部署の関連部署について理解する * 昨年度受講者より伝達講習を受け、関連部署で行われる検査・治療・看護と自部署での看護継続性と関連性について学ぶ	（講師の条件）昨 年度の関連部署 OJT 受講者	各部署で10月までに 実施すること
* 看取りのケア	* 亡くなられた方の尊厳を守りながら死後のケアを学ぶ ：亡くなられた方の重要他者の気持ちに配慮したケアを学ぶ	学研講義活用	各自視聴
* リフレッシュ研修：PART. II	* 同期の仲間とゲーム等をしながら語らいリフレッシュする * 半年間の成長をお互いに認め合う	各部署の 教育担当者	9月6日（金） 9：30～12：30 8：30～9：30 （注射の確認試験）
* 多重課題シミュレーション PART. I 注：静脈注射確認試験を合格・修了していること	* 夜勤業務自立向け、多重課題に取り組むことができる * 多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする * 自部署で受け持ち患者に行った看護実践をもとに、半年間の自己 の看護を振り返り看護観を深める	教育担当者 新人看護職員 研修運営委員長 各部署部長・新人 看護職員研修運営 委員	10月10日（木） 10月11日（金） 8：30～12：00 10月11日（金） 13：00～17：00 自部署で実施
* がん対策基本法と当院の役割	* がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する * がん相談支援センター利用者の相談内容を今後の看護に活かす	患者支援センタ ー看護師	11月6日（水） 13：00～14：00
* キャリア開発ラダー説明会	* キャリア開発ラダーの目的を理解し、必要な準備を行なうことが できる	キャリア開発 ラダー副委員長	11月6日（水） 14：15～15：30
* 「静脈注射 レベル3」	* 化学療法（抗がん剤）、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の 静脈内投与、輸血を安全に実施するための知識・技術を習得する * 静脈内留置針挿入の技術を認定看護師に確認してもらい、自己の 課題を明らかにする	がん化学療法認定 看護師・牧野係 長・4B・6B 新人 看護職員研修運営 委員	2020年 3月 日（ ）
* まとめ研修 「ナラティブ発表会」	* この1年で自分の心に残っている看護の体験を語る	教育担当者 新人看護職員 研修運営委員長	2020年 3月 日（ ）
包帯法 NEW	* 包帯法について学ぶ 注）実践については各部署部署別学習会で教育担当者が実施	学研講義活用	各自視聴
止血法 NEW	* 止血法について学ぶ	学研講義活用	各自視聴

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル2	* 社会の変化と保健医療福祉・看護界の動向 看護助手の参加可 (注) 2020年度以降のリーダー申請予定者は必須	* 国内外の保健・医療・看護・福祉の動向がわかる * 国内における最新の健康問題に関心を持つことができる * 地域の特性や社会資源、ニーズを把握し、看護の対象を個人から集団に広げ考えることができる	山岡看護部長	6月21日(金)
	* チーム医療 NEW 「入退院支援のプロセスと多職種連携」(中堅コース)	* 入退院支援を必要とする患者についての理解を深める * 入退院支援プロセスと病棟看護師の役割を理解する * 院内外の実態を理解する	学研 各自で視聴	4月1日～6月28日の間に視聴・テストを受ける 6月の委員会に提出
	* 診療情報管理II 「ウチの病院ならこれでOK! 効率的に看護記録を書くコツ」(基礎習得コース)	* 診療情報管理について理解する * 看護記録の目的を理解し自身の課題を明らかにする * 客観的な記録を書くことができる	学研 各自で視聴	4月1日～5月24日の間に視聴・テストを受ける 5月の委員会に提出
	* 看護倫理II 「臨床倫理入門」(倫理コース) NEW 対象者: 赤十字の理念を理解している者	* 看護倫理の概要を学び、倫理的問題を客観的な視点で理解できる * 医療施設に勤務する者として倫理的問題に関心を持つことができる	学研 各自で視聴	4月1日～6月28日の間に視聴・テストを受ける 6月の委員会に提出
	* 看護とコミュニケーションII 「看護実践に活かす! リフレクション」(リーダー育成コース)	* 過去の経験から対象に看護を提供する上での姿勢を振り返る事が出来る * 看護者として必要な態度を養うことが出来る * リフレクションのフィードバックの方法が分かる	学研 各自で視聴	4月1日～7月26日の間に視聴・テストを受ける 7月の委員会に提出
	* 後輩育成 「新人&後輩看護師の学びを助けるコミュニケーションの極意」(リーダー育成コース)	* 新人看護師・後輩看護師への学びを助けるためのコミュニケーションを学ぶことが出来る。	学研 各自で視聴	4月1日～7月26日の間に視聴・テストを受け、 7月の委員会に提出
対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル3 対象限定: レベルIII以上をめざす人 レベルIII以上を申請する者は受講が望ましい	* 看護倫理III 「倫理的意思決定」 学研「看護職のための臨床倫理」(倫理コース) 対象者: 「看護倫理II」受講済みの者 ・2回とも参加必須	* 看護倫理の概念、考え方を理解し、今までの疑問や倫理的な問題に気づき客観的に分析できる * 分析モデルを用いて臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	学研 (事前課題) 新野看護副部長 がん看護専門看護師	4月1日～5月24日の間に視聴・テストを受ける 5月の委員会で回収し、講師へ提出 6月13日(木) 2月 日 ()
	* 看護とコミュニケーションIII 「傾聴と質問」 ・2回とも参加必須	* コーチングの概念を理解する * 同僚の能力を引き出すための手法を知る * アサーティブコミュニケーションを理解する	菊地看護副部長	5月28日(火) 11月26日(火)
	* 国内外の保健・医療・看護・福祉の動向 NEW (注) 2020年度以降のリーダー申請予定者は必須	* 世界の国々それぞれには、歴史、宗教、政治、社会、言語、慣習、ジェンダーなどがあることを理解する * グローバル化に伴い、看護の対象も多種多様であることを理解し、地域の健康問題について考えることができる	山岡看護部長	6月25日(火)
	* リーダーシップとメンバーシップ 「いまどき世代の力を引き出す」(リーダー育成コース) NEW ・2回目は実践報告	* いまどきの若者への適切な関わり方、指導方法が説明できる * 現代が求めるリーダー像を踏まえ、明日から取り組む行動を一つ宣言する * 自己のリーダーシップの取り方について考える * 所属する職場の状況を分析し、課題を見出すことができる * 職場のスタッフなどと課題解決の過程を共有できる * 部署のチーム活動に取り組む	1回目学研 各自で視聴 2回目業務委員会 *別途案内あり	5月1日～6月28日の間に視聴・テストを受ける チャレンジシート作成 6月の委員会で回収し、業務委員長に提出 12月19日(木) 報告 14:30～15:30
	* 問題解決 PDP NEW 対象者: 各部署のチームリーダー、看護係長	* 部署での困りごとから真の問題を探り、解決のためにすぐに行うことができる効果的な取り組みを見出すことができる * 看護係長は、チームリーダーの困りごとから真の問題を導くための質問や助言を実践し、ファシリテーションのスキルを学ぶ	教育委員会 師長・係長	後期 *別途案内あり
対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
全看護師	* 「静脈注射」レベル1～レベル2 * 「静脈注射」レベル3(点滴静脈留置針挿入まで)	* 日本看護協会の「静脈注射の実施に関する指針」に沿って、レベル1～3の知識・技術を習得する (注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	学研講義活用 各部署の教育担当者	新入職員研修に参加 7月26日(金)
	* 「静脈注射」レベル3 麻薬・抗がん剤・循環動態に影響する薬剤 対象: 「静脈注射」レベル1～2の研修修了者	* 化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する (注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する	がん化学療法認定看護師・牧野係長・4B、6B 新人看護職員研修運営委員	新入職員研修に参加 3月 日 ()
	* 新採用・全職員対象「BLS」	* BLS=Basic Life Support の知識と技術を身につけることができる	日本 ACLS 協会 インストラクター	各自で申込み受講する
	* 新採用・全職員対象「RRS」	* RRS=Rapid Response System の知識と技術を身につけることができる		各自で申込み受講する
	* 看護技術を学び直そう 「口腔ケア」 NEW ※研修受講者は部署で伝達しOJTを行うこと	* 自分がこれまで実施してきた看護技術を見直し、確かなエビデンスを持ち、安全・安楽に実施できる * マウスケアの方法を学び、部署で実践することができる	基準委員会 RST	7月19日(金) 13:30～15:00

	<p>* 関連部署での見学実習 対象者：経験年数 10 年目程度 受講後、部署で伝達できる人</p> <p>・1 部署へは 2～3 人程度とする ・手術室・カテ室へは新人ローテーションと重ならない時期に行うこと</p>	<p>* 自部署と関連する部署での見学実習を行うことで、自部署での看護に活かすことができる</p> <p>* 次年度の新人看護師に伝達講習を行う。</p>	<p>部署の看護師長・係長・教育委員ほかレベル 3 を取得しているスタッフ</p>	<p>実習先の部署と日時を相談し実施 新人研修の時期を避ける</p>	
	<p>* 看護研究：初めての院内発表 院内発表につなげる気づき（看護研究コース）</p>	<p>* 気づきから臨床研究につなげるために</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日 の期間に視聴</p>	
	<p>* 看護研究：初めての学会発表 全 16 シリーズ（看護研究コース）</p>	<p>* 看護研究とは？なぜ研究するのか？ * 研究デザイン・文献の読み方・研究テーマの絞り込み 倫理的配慮・研究計画書の作成等</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日 の期間に視聴</p>	
	<p>* 学会報告会・看護研究発表会</p>	<p>* 看護学会・看護研究で得た知見を看護職員間で共有し、各部署で活かす</p>	<p>教育委員会</p>	<p>10 月 7 日(月)8 日(火) 11 月 11 日(月)12 日(火)</p>	
	<p>* 赤十字管理者 研修報告会</p>	<p>赤十字看護管理者研修 I () 赤十字看護管理者研修 II ()</p>	<p>* 看護実践や看護管理に活用するため、研修参加者が学んだ知識・技術を共有する 注) 今年度キャリア開発ラダー取得予定者は、いずれかに参加すること。</p>	<p>担当：看護部 月 日 () 月 日 ()</p>	
対象	研修名	研修目標	講師	日時	
対象別	卒業後 2 年目対象	<p>* フォローアップ研修</p>	<p>* 2 年目の看護部教育計画を理解する * 2 年目の課題達成に向けて行動計画を立案する * 「事例検討の進め方」について提示する</p>	<p>各部署の師長 係長・教育委員</p>	<p>各部署で実施</p>
		<p>* リーダー研修 Part. 1 「できる！明日からの日勤リーダー」 (リーダー育成コース) NEW</p>	<p>* リーダーとリーダーシップの違いがわかる * 日勤リーダーのイメージができる * 憧れのリーダーを見つけることができる * 当院や部署における各リーダーの役割を理解する</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>2019 年 11 月 1 日～2020 年 1 月 24 日の間に視聴・テストを受ける 1 月の教育委員会に提出</p>
		<p>* リーダー研修 Part. 2 「強くなる！明日からの夜勤リーダー」 (リーダー育成コース) NEW</p>	<p>* 夜勤リーダーのイメージができる * SBAR がわかる * 一人で抱え込まず周囲に相談する方法がわかる</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>2019 年 11 月 1 日～2020 年 1 月 24 日の間に視聴・テストを受ける 1 月の教育委員会に提出</p>
		<p>* 「事例検討」</p>	<p>* 看護理論をもとに受け持ち患者の看護過程を展開する * フィジカルアセスメントを適切に行う * 事例を通して自己の看護を振り返り看護観を深める</p>	<p>教育委員会</p>	<p>最終提出 11 月 22 日 事例検討は部署発表とする</p>
		<p>* 「到達目標」の最終評価</p>	<p>* 2 年目の課題達成のための行動計画を自己評価し、次年度への自己の課題を明らかにする * 2 年目の面接までに実施する</p>	<p>提出先 各部署師長</p>	<p>提出締切：2020 年 3 月 19 日(木)</p>
	<p>* 平成 31 年度実地指導者フォローアップ研修 対象：平成 31 年度に新人看護師のプリセプターの役割を担った者</p>	<p>* 実地指導者として新人看護職員に行った支援を評価し、自己の課題を明らかにする * 7 月以降の新人看護職員を支援する行動を見出すことができる</p>	<p>新人看護職員研修 運営委員 教育委員師長</p>	<p>6 月 20 日(木) 13:30～15:00</p>	
	<p>* 2020 年度実地指導者研修 対象：2020 年度に新人看護師のプリセプターの役割を担う者</p>	<p>* 来年度の新人看護職員研修の内容と自分の役割を理解する * 「共に育ち合う」ことを念頭に、謙虚さを持って新人看護職員の支援ができる</p>	<p>新人看護職員研修 運営委員</p>	<p>2020 年 2 月 日 () * 来年度別途案内</p>	
	<p>* 教育担当者研修</p>	<p>* 部署の看護職員に必要な能力を明確にする * 部署の教育計画・OJT を評価し、次年度に向けて見直しをする * 今年度の自己の課題と次年度の新人看護職員研修における自己の役割を明確にする</p>	<p>新人看護職員研修 運営委員 教育委員師長</p>	<p>2020 年 3 月 日 ()</p>	
対象	研修名	研修目標	講師	日時	
* 看護管理者	<p>* 昇任看護係長研修 (名) (注) 今年度昇任係長出席</p>	<p>* 看護係長の職務について理解する * 1 年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする</p>	<p>看護管理者</p>	<p>研修計画書は 別途作成・配付</p>	
	<p>* 昇任看護師長研修 (名) (注) 今年度昇任師長出席</p>	<p>* 看護師長の職務について理解する * 1 年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする</p>	<p>看護管理者</p>	<p>研修計画書は 別途作成・配付</p>	
	<p>* 「次世代の病棟（看護）管理者の育成！」 (看護管理コース) NEW</p>	<p>* 看護師長としての責任と役割を理解できる * 他部署との合意形成の仕方を理解できる</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>8 月 1 日～8 月 31 日まで に視聴</p>	
	<p>* 「看護実践能力を育成するためのリフレクション」 (看護管理コース) NEW</p>	<p>* 看護の質を維持・向上するための、スタッフ育成のための方略としてのリフレクションを理解する * リフレクションを活用できる</p>	<p>学研 各自で視聴</p>	<p>5 月 1 日～7 月 26 日まで に視聴</p>	

	<p>*手指衛生の実践に取り組もう！ NEW</p> <p>対象者：看護係長</p>	<p>*看護実践のリーダーとして、看護職員に手指衛生を指導するための知識とスキルを学ぶ</p>	<p>感染看護 認定看護師</p>	<p>6月18日（火）</p>
	<p>*冬季感染症流行期の感染管理 NEW</p> <p>対象者：看護管理者</p>	<p>*看護職員への働きかけを学ぶ</p> <p>*有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ</p>	<p>感染管理 認定看護師</p>	<p>10月15日（火）</p>
	<p>*救護員としての赤十字看護師長研修 「災害と看護管理」（PTTあり） （注）看護師長・係長は「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修2」の受講希望者に、各部署で以下について講義する。 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する</p>	<p>*災害各期における様々な状況下での看護管理者の役割を理解する</p> <p>*看護管理者として災害看護に関する実践的課題と今後の展望について考察する</p> <p>・部署の災害・テロ・感染等の対策の仕組みを作る</p> <p>・定期的な災害・テロ・感染防止の訓練を行い、スタッフの災害看護教育を行う。</p>	<p>看護師長・係長</p>	<p>「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修」の計画に合わせて、部署での教育計画を立案・実践する （複数回に分けて開催するなどの工夫可）</p>
	<p>*看護管理者研修 看護管理過程における PDP の活用 NEW</p> <p>対象：看護師長</p> <p>（注）講義はありません</p>	<p>*自部署の管理課題を明らかにし、PDCA サイクルを回すことを意識し目標達成を目指す（ラダーの指標「管理過程」も参照すること、看護部で配布した書籍も活用すること）</p> <p>*管理課題に取り組むうえでの困りごとから真の問題を探り、解決のためにすぐに実行できる効果的な取り組みを見出すことができる</p> <p>*全看護管理者が管理者ラダーのレベルを取得することで、スタッフのラダー申請の動機付けとなることをめざす</p>	<p>看護部 新野副看護部長</p>	<p>8月29日（木） 13:30～16:30</p>
看護助手	<p>*看護補助者対象研修</p> <p>・2回の研修のうち1回参加のこと</p> <p>参加必須</p>	<p>*医療制度の概要と当院の組織体制と機能</p> <p>*医療チームにおける看護補助者の役割と業務、業務上の責任</p> <p>*患者への対応と接遇</p> <p>*医療における倫理と個人情報保護法遵守</p> <p>*医療安全 *感染予防管理</p>	<p>学研講義活用</p> <p>看護部 医療安全 感染管理</p>	<p>集合研修</p> <p>6月14日（金） 13:30～15:30</p> <p>6月21日（金） 14:30～16:30</p>
	<p>*看護援助技術 「感染流行時期の清掃」</p> <p>・オンデマンド視聴後に実技</p> <p>・2回の研修のうち1回参加のこと</p> <p>参加必須</p>	<p>*看護助手として、対象に安全に援助するための技術を修得する</p> <p>・感染症罹患患者の病室内やベッド等の清掃と消毒方法について</p>	<p>基準委員 感染管理認定看護師</p>	<p>集合研修</p> <p>10月17日（木） 10月24日（木） 13:30～15:00</p>

教育研修専門コース

分野	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
がん看護実践コース				
がん看護 総論	*がん患者の心理と危機的状況 ー危機問題解決モデルを用いた理解と看護 介入ー 対象：全看護師	*がん患者の危機的状況に敏感に反応し、すみやかに関わるための 知識と感性を養う *危機問題解決モデルを用いて、がん患者の心理・危機的状況と看護 介入を理解する	がん看護専門看護 師 高橋志薫	8月22日(木)
	*がん患者の意思決定支援 NEW 対象者：全看護師	*がん患者に必要な意思決定支援が理解できる *意志決定支援を継続する必要性が理解できる	がん看護専門看護 師 川原明子	9月17日(火)
がん手術 療法看護	*リンパ浮腫のある患者へのケア NEW 対象者：全看護師	*リンパ節郭清術後のリンパ浮腫セルフケア支援の基本を知ること ができる	緩和ケア認定看護 師 伊藤知佳	9月12日(木)
がん薬物 療法看護	*抗がん剤の曝露対策 1 NEW 対象者：全看護師	*抗がん剤の危険性と適切な管理の重要性を理解する。	がん化学療法看護 認定看護師 藤原朋未 高橋一美	6月20日(木)
	*抗がん剤の曝露対策 2 NEW 対象者：全看護師	*業務に関連する具体的で安全な取り扱いができるようになる		8月16日(金)
	*がん薬物療法による副作用のモニタリ ングとセルフケア支援(基礎編) NEW 対象者：全看護師	*副作用のモニタリング方法を知り必要なセルフケア支援を行う事 できる	がん化学療法看護 認定看護師 藤原朋未 高橋一美	10月31日(木)
	*がん薬物療法による副作用のモニタリ ングとセルフケア支援(実践編) NEW 対象者：基礎編受講済またはレベル3を目指す人	*副作用のモニタリング方法を知り必要なセルフケア支援を 行う事できる		11月21日(木)
	*CV ポート管理と穿刺 NEW 対象者：静脈注射レベルⅢ受講済で、レベル3を 目指す人	*CV ポートの構造を理解し、安全に管理するための知識と技術を習 得する	がん化学療法看護 認定看護師 藤原朋未 高橋一美 患者支援センター 佐藤係長	12月12日(木)
緩和ケア	*看取り期の鎮静について NEW 対象：全看護師	*鎮静ガイドラインについて学び、看取り期の患者の鎮静のあり方 について考えることができる	緩和ケア認定看護 師 清水師長 伊 藤知佳	7月25日(木)
救急看護	*患者急変対応の「気づき」 ～RRS トレーニングの基礎知識～ 対象：全看護師	*RRS の意味を理解する *RRS 発動基準に基づいた急変への気づきを理解し評価できる	救急看護認定看護師 急性重症患者専門 看護師 小笠原美奈	5月10日(金)
感染管理 *看護管理 者対象研修 で実施	*手指衛生の実践に取り組もう！ NEW 対象者：看護係長	*看護実践のリーダーとして、看護職員に手指衛生を指導するため の知識とスキルを学ぶ	感染管理認定看護 師 井上師長	6月18日(火)
	*冬季感染症流行期の感染管理 対象者：看護管理者	*看護職員への働きかけを学ぶ *有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	福田係長	10月15日(火)
新生児 看護	*超早産児の蘇生について NEW 対象：新生児病棟・産科病棟 <u>レベル2を取得済みで、超早産児の蘇生に介 入した経験のある人</u>	*超早産児の特徴を理解できる *超早産児の蘇生における看護の役割と実践のポイントを理解でき る	新生児集中ケア認 定看護師 岡田智 子 小林節子	10月24日(木)
認知症 看護	*入院中の認知症高齢者への看護 NEW ～患者さんの不安を減らし安心を増やす技 術を学ぼう～ 対象：全看護師・看護助手	*高齢者や認知症の人への関わり方を理解し実践することができる	認知症看護認定看 護師 出雲裕子	7月19日(金)
皮膚排泄 ケア	*失禁による皮膚トラブルへのアプローチ NEW 対象：全看護師	*予防的・治療的スキンケアを理解し、実践に活かすこと ができる		9月26日(木)
	*基本的なストーマケア NEW 対象者：全看護師	*基本的なスキンケア、装具の取り扱いができる	皮膚排泄ケア 認定看護師 小松恵智子	11月1日(金)
	*ストーマケアのコツとワザ NEW 対象者：昨年度のストーマケア研修、今年度の基 本的なストーマケアを受講済の人、あるいはレベ ル3を目指す人	*管理困難なストーマに対してのスキンケアと装具の選択 ができる		11月22日(金)

救護員としての赤十字看護師等研修コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
救護員としての赤十字看護師研修	*救護員としての赤十字看護師研修 (注) レベルⅡ申請者は本研修の受講で 前提条件として認める	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な 知識・技術・態度を習得する	担当：看護部	5月～6月 研修計画書は 別途作成・配布
	*救急法 (注) 救護員としての赤十字看護師研修受講者は 必須	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な 知識・技術・態度を習得する	担当：看護部 日赤秋田県支部	別途案内
救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修 NEW	1. 日本赤十字社看護部の救護員としての赤十字 看護師の育成に関する取り組み (20分) 対象：レベル2を目指す方	*赤十字の看護師養成の歴史について理解する *救護員養成の法的根拠について理解する *研修体系を理解する *赤十字施設のキャリア開発ラダーとの関連を確認する	フォローアップ研 修修了者：菊地看 護副部長・佐藤師 長	項目3と一緒に 行う 7月8日(月) 13:00～15:20
	2. 日本における災害対策および日本赤十字社の災 害救護活動～協働の時代に向けて～ (90分) 対象：レベル2を目指す方 注) 救護員としての赤十字看護師等フォローア ップ研修の集合研修を受ける前に各部署で受講 する	*災害の定義、分類、近年の発生傾向等について理解する *日本赤十字社が行う災害救護活動の法的根拠、国の防災対策との 関連について理解する *日本赤十字社の災害救護体制とリソースについて理解する *日本赤十字社取り巻く災害救護活動の現状、今後の取り組みにつ いて理解する	研修プロジェクト メンバー・救護活 動経験者・看護師 長：各部署師長・ 係長	部署の都合による (数回に分けて開催 するなど工夫可)
	3. 災害サイクルに応じた看護活動 (講義60分+ディスカッション60分程度) 対象：レベル2を目指す方	*災害サイクルに応じた災害救護活動を理解する ①超急性期活動でのそれぞれの場所での活動の目的・目標を理解 する ②災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援につ て理解する ③静穏期の減災対策(国の減災対策・病院等施設の減災対策・個 人の減災対策)を理解する	研修プロジェクト メンバー・救護活 動経験者・看護師 長・赤十字科目研 修修了者：齋藤師 長・五十嵐係長・ 小山内看護師・佐 藤師長	項目1と一緒に 行う 7月8日(月) 13:00～15:20
	4. 災害時における感染制御について (講義70分+GW20分) 対象：レベル2を目指す方	*災害時における感染制御について理解する	研修プロジェクト メンバー・感染管 理認定看護師：井 上師長・福田係長	8月2日(金) 14:00～15:30
	5. 災害の特性に応じた救護活動 (90分) 対象：レベル3を目指す方	*災害の特性による救護活動を理解する	救護班看護師長・ 赤十字科目Ⅱ修了 者・活動経験者 必要に応じ、一部 を専門家へ依頼～ 放科等：中川師 長・岩下師長・今 野係長・白鳥係長	11月8日(金) 14:00～15:30
	6. 被災者特性に応じた看護活動 (講義30分+GW90分程度) 対象：レベル3を目指す方	*下記の対象者に対する災害看護を理解する 「高齢者・母性・小児・障がい者・精神障がい者・慢性期疾患患者 など」	赤十字科目研修修 了者・救護班看護 師長・救護活動経 験者など：大原師 長・菅原師長・鈴 木(詔)係長	項目7と一緒に 行う 11月15日(金) 10:00～15:00 (昼休憩挟む)
	7. 災害時の遺体の対応について (講義60分GW60分程度) 対象：レベル3を目指す方	*災害時のご遺体の対応について理解する	菅原師長・大原師 長	項目6と一緒に 行う 11月15日(金) 10:00～15:00 (昼休憩挟む)

【受講にあたっての確認事項】

1. レベル別

研修についての基本的な考え方（キャリア開発ラダーに対応した研修です）

- 1) 平成 31 年に新人看護師・新人助産師で採用された職員はレベル I の認定を受けてから上位のレベル認定をめざします。
- 2) 上記以外の職員は、必ずしもレベル I から申請する必要はありません。
自分がめざすレベル達成のためにレベル別研修を受講してください。（全研修の受講は必要ありません）
最初から高いレベルの研修を受講するのではなく、自分の目標達成に向けて計画的に学習してください。

2. 他の研修についての考え方

- 1) 教育研修専門コースはより実践につながる研修にするために、専門分野に関心を持っている看護職員が対象です。
- 2) 対象別の研修はその対象者に参加してもらう研修です。

3. 研修の申し込みについて

・受講希望の取りまとめは、**基本的に 1 回です。「1 年間に受講する研修を自分自身で計画するのが大人の学習です。」**

部署の教育委員が受講希望者のとりまとめをしますので **4 月 26 日（金）** までに申し込んでください。

（注：やむを得ない理由により追加参加をしたい場合は、教育委員長に相談のこと）

学会報告会、研究発表会、来年実施予定など、一部の研修は別にとりまとめをします

4. 留意点

- 1) 受講申し込みをした研修には忘れずに出席してください。無断欠席は、関係者に迷惑をかけます。
やむを得ず欠席する場合は、講義計画の変更に関わるため研修担当者（講師）に必ず連絡してください。
- 2) **受講者は、自分達で研修開始前に机・椅子の準備等を行い、時間通り研修を開始できるよう積極的に協力しましょう。**
・組織において研修を実施した場合、**研修評価は必ず実施します。**（詳細は教育基準に記載しています）
評価方法は、教育担当者師長が協議し決定します。 このことを了承し受講してください。

研修時間は 17 時 15 分～18 時 15 分

自分自身の看護実践能力を向上させ、対象に合った看護を提供し

自分自身も満足感を得るため、学研ナースングサポートも活用して主体的に学習をしましょう！